



本気元気根気

「本気で勉強、ファイトで運動、やる気とねばりでとことんまで」

第13号 佐賀市立巨勢小学校 学校便り 令和5年2月8日

3学期はあっという間に終わります

1年のうちで一番短いのが3学期です。もう2月になってしまいました。この短い期間をいかに過ごすかが、次の年の4月の新しい学年のスタートに影響します。特に大事なものは、仕上げの学期であることを意識させることです。次の学年を見据えながら、できることを増やす、うまくいかないことを減らす取り組みが必要です。ご家庭でもぜひ声かけをお願いいたします。

6年生バスケットボール出前授業

1月20日に4年生のサガン鳥栖のサッカー教室に引き続き、6年生で唐津が本拠地である3on3のレオブラックス・レオナイナースからバスケットボールの出前授業に来ていただきました。身近にプロのプレイヤーと接することは子どもたちにとって大変刺激的な体験となります。現在、サッカー（サガン鳥栖）バスケット（佐賀バルナーズ・レオブラックス・レオナイナース）ハンドボール（レッドトルネード）バレーボール（久光製薬スプリングス）など佐賀を本拠地に行っているチームがあります。これからも機会があれば、出前授業を申請したいと思っています。



3年生社会科見学 いちごさん



にいろいろと力を入れています。コロナ前は、東京でイベントを開催していました。その内容は、2階建てバスの中でのいちご狩りやいちごのデザートフェアなどです。もっと佐賀県を県民あげて売り込んでいきたいものです。

1月23日（月）「いちごさん」農家のハウス見学に3年生と一緒に出かけました。3年生の社会科では、身近な農家か工場を見学して、地域の産業を学習することになっています。巨勢小学校では、全国大会で県外の先生たちに提案する意味で「いちごさん」農家にスポットをあてて教材開発を行ってきました。今年で、3年目の取り組みになっています。佐賀県は、魅力度ランキングでは、最下位でしたが、佐賀県では自慢できることもたくさんあります。農業県佐賀としては、米・麦・レンコン・タマネギ・みかん・いちごといろいろあります。県庁もアピール



ようこそ先輩(城東中学生徒会訪問)

城東中校区では、3つの小学校と中学校が連携しながら、小中連携のプログラムを実施しています。小学校と中学校では、子どもたちの生活は大きく変わります。たとえば、学級担任制から教科担任制へ、部活動の開始、制服の着用、自転車通学などいろいろです。そこで、スムーズなスタートを切るために、中学生が小学6年生に中学校生活の説明に来ます。新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりの来校となりました。本校卒業の中学生が大きく成長し、凛々しい姿にたいへんうれしく思いました。写真・映像・寸劇など工夫を凝らした説明で6年生も楽しめました。最後にはグループに分かれ、具体的に質問をすることができました。



2月の行事

- | | |
|---------|--------------------------------|
| 2月2日(木) | 新入学説明会 14:00~ |
| 6日(月) | クラブ活動 |
| 8日(水) | 授業参観
4年十歳の集い(延期)
6年学年PTA |
| 9日(木) | 新1年生入学体験 |
| 13日(月) | 家庭学習がんばろう週間
(~17日)
委員会活動 |
| 23日(木) | 祝日 天皇誕生日 |
| 24日(金) | 6年生ありがとう集会 |

巨勢小学校の大先輩である「古賀常次郎」さんの記事が佐賀新聞に掲載されていたので、紹介します。

企業家引退後も「ふるさとのために」と寄付活動を続け、総額10億円に迫る。うそをつかない、約束を守るなど若い頃から公言してきた「五つの誓い」を掲げ、「命尽きるまで、皆さまでから受けた」恩を胸に全力投球したいと信念に揺るぎはない。少年時代はげんかに明け暮れる「札付き」だった。傷害事件で鑑別所に送られたことも。しかし、保護司との出会いや金型工時代の上司など周囲の理解や配慮が生き方、考え方を変えた。22歳で佐賀高校(当時)定時



10億円に迫る寄付で褒章受章103回のギネス世界記録

古賀常次郎さん(83)



制に入学し、4年間を無遅刻無欠席で卒業。1967年、在学中に着想した「緩まないネジ」を発明し、7カ国で特許を取得した。69年に佐賀出身でリコー創業者の市村清氏が創設した第1回市村賞に輝くと、「驚くほど政財界の人脈が広がった」。68年にビル清掃業の古賀商事を設立、更生保護を中心に私財を投じてきた。一方で自らを厳しく律し、趣味や遊興に走らず酒もたしなまない。94年に史上最年少で藍綬褒章を、2009年には旭日双光章を受けた。褒章・叙勲の103回はギネス世界記録に認定されている。ここ数年思いを強くしているのが郷土の子どもたち。20年に古賀商事の会長を退き、会社の敷地内にあつた記念館を退去、整理し、展示資料のほとんどを母校の巨勢小に寄贈した。佐賀大学の学生への奨学金贈呈は、学ぶ機会を持たなかった悔しさと若者への期待を形にしている。

現在の名刺の肩書は3文字のみの「発明家」だ。佐賀市。